

データシート

業 種	航空
取組分野	重大事故等への対応
テーマ	重大事故等緊急対応訓練の見直し・改善の取組み
取組の狙い	危機対応手順を予め定め、模擬演習を実施することにより当該手順の適切性の検証や危機対応要員の技術的能力の維持、向上を図る
具体的内容	<p>日本貨物航空(株)においては、「安全管理規程に係るガイドライン」に定める「重大な事故等への対応」に関して、以下の取組みを推進している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「危機対応マニュアル」を策定し、事故等の応急処置・復旧措置の実施、事故原因・被害の調査分析等に係る責任・権限等の必要な事項を明示・周知。危機管理の対応手順を判りやすく明記した危機管理ポケットブックを作成し、全社員に配付・周知。 2. 毎年2回程度、各種航空事故の発生を想定したシナリオで、マスコミ関係者参加のうえ、全社的な事故処理演習(本年5月には参加者にシナリオを事前周知しない方法で実施)を実施し、事故処理演習実施後は、参加者から感想等を提出させるほか、反省会を必ず開催し、対応手順の見直しを適宜実施。特に、上記の緊迫した実践的なマスコミ対応演習については、可能な限り、本社社員に経営陣の対応状況を間近で見学させ、意識向上を図っている。 3. 反省会で見出された見直し部分については、経営トップまで報告され、適宜改善を図り、それらの結果は次回の演習計画に活用。
取組の効果	危機発生時における迅速かつ効率的な対応体制が確立できる。
事業者名	日本貨物航空(株) (連絡先:運航統轄・危機管理部 危機管理チーム)